

安保法案反対アピール



プラカードを手に安全保障関連法案への反対を叫ぶ参加者＝23日夜、宇都宮市本町、県総合文化センター

宇都宮で「全国署名県連絡会」

「戦争法案反対・9条壊すな!」6・23直民集会」が23日夜、宇都宮市本町の県総合文化センターサブホールで開かれ、市民ら約470人が参加した。国会で審議中の安全保障関連法案は「戦争法案」

だとして、成立阻止のために行動するとした決議を採択。予定された市街地パレードは雨天により中止となったが、参加者は配られたプラカードを手に「戦争法案、今すぐ廃案!」などとしゅプレビコールを上

発	本年	前年	累計
死	本年	前年	累計
負	本年	前年	累計
22日			

県内の交通事故

市民団体「戦争をさせない全国署名県連絡会」が主催。共同代表の高際澄雄宇都宮大名誉教授は「きょうは沖繩慰霊の日だが、悲惨な戦争を繰り返さないため戦争法案反対を叫ぼう。95日間の国会延長となるが、たたかい続けよう」と呼び掛けた。

集会は民主、社民、共産各党の県組織の代表者も出席。民主党県連代表の福田昭夫衆院議員は「法案について多くの憲法学者が『違憲』と言っている。それなのに安倍政権は数の力で成立させようとしていて、とんでもない」と訴えた。

(田面木千香)